

2025年度 JKA 補助事業「STEAMによる学びを促進するライブラリーの高度化」の自己評価

自己評価結果：

2026年3月13日に行われたプラットフォーム構築委員会にて、事務局が進める「三位一体のアプローチ」（ライブラリーの認知度向上、コンテンツの魅力向上、学びの場での利用促進：活用ワークショップの開催など）と、その成果の一つとしての月間総ページビュー数の増加につき、有識者から好意的に評価された。

以下の「補助事業の直接的な目的」に照らし、十分な成果があったと自己評価する。

補助事業の直接的な目的
当法人の運営する教材ライブラリー“PSLC”をユーザーにとってより価値のあるもの、また、ユーザー・フレンドリーなものとすることにより、利用度・浸透度をあげ、STEAM/探究学習の優良な教材を日本全国のより多くの生徒・教員に届ける。 これにより、与えられた解を効率的に求める画一的な教育から、STEAM/探究的な学びを重視する流れを加速し、日本の産業競争力、特にものづくり産業の復権に貢献することを目的とする。

3月13日の委員会に参加頂いた有識者：

- 国立研究開発法人役員、研究員
- 国立大学教授、名誉教授
- 私立高校校長
- 公立高校元教員
- 地方公共団体管理職
- 製造業企業管理職
- ウェブプラットフォーム専門家

ほか